

人権いるま

—第3号—

令和7年3月発行
(2025年)

編集・発行 入間市人権教育推進協議会・入間市教育委員会

—主な内容—

令和6年度人権標語紹介

トピック

「学校の制服から考える人権」

令和6年度人権作文紹介

人権啓発DVD紹介

「障害のある人の気持ち 私たちの一歩」

人権教育事業参加レポート

外国人の人権～やさしい日本語

令和6年度 人権標語紹介

入間市では毎年、市立小中学校の小学5年生・中学1年生を対象に人権標語を募集しています。募集作品の中から一部を紹介します。

- ◆ やさしさの 数だけみんなに 花が咲く
- ◆ やさしさは しあわせになる 第一歩
- ◆ やさしさは あいてをたすける いのちづな
- ◆ 笑顔でも 心にささる 悪口は
- ◆ あいさつは みんな笑顔に するまほう
- ◆ 思いやり 一人一人を 守り合う
- ◆ あなたにも 生まれた時から ある人権
- ◆ 人と人 「比べ合う」じゃなく 「認め合う」
- ◆ 勇気出せ 困っている人が すぐそばに
- ◆ 助け合おう 感謝し合おう だれとでも
- ◆ 相談は 自分を守る おまじない



令和6年度 人権作文紹介

入間市の市立小中学校では毎年、小学2年生から中学3年生までの児童生徒が人権作文を書いています。そのうちの3作品を紹介します。

「ひろがったらいいなみんなのやさしさ」

小2

ぼくのおばあちゃんは、いつもぼくのことをほめてくれます。とおくにすんでいてなかなかあえないので、よくテレビでんわをしています。ぼくがなわとびをできるようになったことや、ならいごとのスイミングでごうかくしたことをほうこくすると、大きな声ではくしゅしながらじぶんのことのようによこんでくれます。夕はんをたべながらでんわするときは、たべているしせいやおちゃんをもっていることもほめてくれます。

どんなことでも、おばあちゃんがほめてくれると、じしんになります。またがんばろうというやる気も出ます。やさしい気もちにもなります。そして、みんなにやさしくしたくなります。

ぼくのクラスでは、かえりのかいに、その日だれがなにをがんばっていたかはっぴようするキラキラタイムがあります。じぶんのことをはっぴようしてもらえると、じぶんがいっしょうけんめいしたことをともだちが気づいてくれたとわかり、うれしくなります。だからぼくもみんなのいいところをたくさん見つけて、手をあげるようにしたいです。

いつもおばあちゃんやおともだちがぼくをやさしい気もちにしてくれるように、ぼくもまわりの人をやさしい気もちにしたいです。

ぼくのまわりにやさしい気もちがあふれて、みんながたのしくすごせるといいなとおもいます。

「障がいがあっても」

小6

私は障がいをもっています。私は骨の病気で背が小さく、移動するときには家族と手をつないで行動します。視力もあまりよくないのでメガネをかけることも必要です。背骨や足も弱いので、夜や運動するときこそう具をしたり、少し遠くへ行く時は車いすを使ったりします。背が小さいことに対して幼い子やお年寄りに傷つく言葉を言われたり、病気で視力が悪くてメガネをかけているのに「小さいのにゲームのしすぎでメガネをかけていてかわいそう。」

と言われたりして、いやな思いをすることも少なくありません。でも、私の周りの人たちは私のことを理解してくれて、協力したり、助けてくれたりします。

みなさんには、好きなことやあきらめたくないことはありますか。私は障がいをもっていますが、夢中になって、あきらめたくないことがあります。それは音楽です。私はピアノとバイオリンをやっています。音を奏でることがすごく楽しくて大好きです。ピアノとバイオリンは 5 さいからやっています。私は背が小さいので、ピアノの演奏をするために自分専用のペダルをつくってもらいました。私が音楽を楽しむことができるように、ピアノの先生やバイオリンの先生がいろいろな工夫をしてくれます。こういった工夫のおかげで健常者と同じコンクールに出て賞をもらうことができました。今は多くの支えで好きな音楽に全力を注ぐことができています。

このような経験から、いやなことがあったとしても、あきらめずにがんばれば夢が叶うことを知りました。障がいがあっても工夫をしたり、全力で楽しんでいたりすると、結果を出せるということが分かりました。

大変なこともあるけどこれからも周りの人に感謝して前を向いてがんばっていきます。

「だれもが生きやすい社会へ」

中2

世界にはどんなに「普通」に生まれたくても障がいがある状態で生まれてしまう人がいます。自分の出生を選ぶことができない中で、誰もが幸せになる権利があります。

私は障がいのある人に向かって「普通じゃない」という言葉をかけている人がいてはっとしました。そもそも普通って何だろうか？みんなと違う体をしていたり、上手に話せなかったら普通ではないのだろうか。私は障がいのある人が同じ人間なのに、「普通」ではなく差別される世の中をなくしたいです。

そんな思いをもちはじめたのは、障がいのある母の姉に出会ったからです。母の姉は頭に障がいがあり、勉強ができなかったり上手に話すことができません。最初はそんな母の姉が怖くて避けていました。しかし、後に母から母の姉は障がいがありみんなと同じ生活を送ることが難しいこと、さらに小さい頃から障がいがあるということにいじめを受けていたことを知りました。いじめはだんだんとひどくなり、上ばきに画びょうを入れられたり、大声で悪口を言われたりすることが多くなってしまったそうです。私はその話を聞いて心が痛みましたが、同時に私も母の姉から見た目や行動だけで母の姉から避けていて、いじめにつながることをしてしまったことに気づきました。そして、もし自分が生まれもった変えられないものが原因で人から避けられるようになったらどんな思いになるかと考えると居てもたっても居られず母の姉のところへ急ぎました。最初はどんなことを話せばよいか迷いましたが、好きな食べ物や、好きなアニメなど簡単な話をしていくうちに怖いという偏見がなくなり、一緒にいることが楽しくなりました。もちろん、一緒に話していて、何を話しているか分からないときもあります。でも一生懸命に私と話そうとしてくれる姿に心が打たれました。私は、人を見見た目や行動だけで判断するのではなく、相手のことをしっかりと知る大切さに気づきました。

ある日、母の姉と仲良くなってきた頃一緒にショッピングモールに行きました。話していくうちに母の姉は物をつくるのが好きだと知ったので材料を探していたときのことで。母の姉がとぎれとぎれでも頑張ってニコニコと私と話している会話を聞いたからなのかとなりの人が逃げるように去っていきました。私はそんな対応に胸が痛みました。確かにしゃべり方はみんなよりも上手ではないかもしれない。けれど自分を受け入れて苦労しながらも頑張って話しています。きちんとそのことを知って見た目だけで判断してほしくない心から思いました。あなたの発言や行動一つで傷ついてしまうことがあることを知っておいてほしいです。

世界にはいろいろな障がいがある人が沢山います。障がいのある人も幸せになる権利があります。みんなが幸せになるには、どんな障がいをもっていてどんな助けが必要なのかを理解する必要があります。最初は私みたいに怖くて避けてしまったり、どんな声かけをしたら良いか分からなかったりと勇気が出せず行動に移せないかもしれません。そんな時は一言「おはようございます」「こんにちは」と声をかけてみてください。そんな小さなことからでも相手のことを知ることができるはず。おたがいの違いを認め合ってだれもが生きやすい社会をつくっていききたいです。



人権啓発講座『同和問題の解決を目指して』

令和6年11月20日 黒須公民館

講師：埼玉県人権・男女共同参画課 人権・同和問題講師



人権講座の「同和問題の解決を目指して」に参加してあらためて根の深い問題であることを認識しました。個人的にはこの問題は一般的に最近では取り上げられることが少なく、徐々に自然に消えていくのではないかと感じておりました。地域性もあるのかも知れませんが、事実知人たちの間でも話題にならず、結婚問題等も過去のような影響は少なくなっていると感じていました。しかしながら本講座で SNS 関係にて情報を発信したり、誹謗するような事実があり、それによる影響がかなりあることを知り愕然としました。この問題を防ぐことは非常に困難だとは感じますが、講座等の機会を通じ一人でも理解者を増やしていくことが必要と痛感しました。

執筆 人権教育推進協議会委員 内山 郁夫

夏休み人権映画会

令和6年8月18日 扇町屋公民館

上映映画：「盲導犬ウィールの一生」
「桃花の自由帳」



今回、2本の映画を鑑賞しました。1本目は、ことばを交わさない盲導犬が視覚障害者の方に寄り添って生まれる信頼関係の話でした。2本目は、家庭環境の違う小学生がことばにより傷ついてしまう友人を一人にしたいという気持ちから家族や地域の人も変えていく話でした。これらの映画から、ありのままを受け入れることの難さと「ことば」について考えさせられました。

執筆 人権教育推進協議会委員 渡辺 美恵子

外国人の人権～やさしい日本語～



外国人に対し、必要な情報を全て母国語に翻訳し、伝えることは困難ですが、簡単な日本語であれば理解できる人は多く、日本語能力の十分でない外国人にもわかりやすいように配慮した日本語である『やさしい日本語』が効果的です。

どんな時に使う？

◆災害時・緊急時(急病・ケガ・事件等)

翻訳する時間がなく、急いで情報を伝えたいいけない時。

◆平常時

自治体や町内会からのお知らせ、学校からの便り。窓口での手続き等。

日本人にもわかりやすい

ポイントを押さえれば誰でも作り、使うことができます。また、子ども、高齢者、障がい者の方にとっても分かりやすいコミュニケーション手段の一つです。

やさしい日本語の作り方の詳細や、言い換え表は、入間市公式 HP から！

入間市公式 HP

Click!

やさしい日本語のポイント

- ◆簡単な言葉に言い換え、漢字にルビをふるか、ひらがなにする。
- ◆一文を短くし、文節に分ける。主語述語は一組の簡単な構造にする。
- ◆原語の意味と異なるカタカナ語と外来語は使わない。
擬音語・擬態語は使わない。
- ◆動詞を名詞化したものは使わない。曖昧な表現と二重表現は使わない。
- ◆元号は西暦に、年月日を用いる。時間は12時間表記を原則とし、午前/午後か AM/PM をつける(24時間表記でも可)。AM/PM を用いるときは時間の後ろにつける。年度は具体的に説明する。

やさしい日本語の例

ただちに高台へ避難 ⇒ **すぐに たかい ところへ にげて ください**
 ○○であり、▲▲なので、…⇒ **○○です。▲▲です。だから、…**
 デマ⇒ **うそのはなし** / めちゃめちゃです⇒ **こわれています**
 揺れがあった⇒ **ゆれた** / 通れないことはない⇒ **とおることができる**
 令和6年2月1日 16時⇒ **2024ねん2がつ1にち ごご4じ(4:00PM)**
 令和6年度⇒ **2024ねん4がつ1にち から 2025 ねん3が31にち まで**

トピック



『学校の制服から考える人権』

埼玉県では、令和4年7月に「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」が施行され、令和5年度より女子制服のある全ての県立高校で女子のスラックス選択が可能となりました。

入間市では、多様な性のあり方を尊重し、誰もが自分らしく活躍できるまちをめざしており、令和6年度現在、全ての中学校で女子が男子用スラックスの着用を選択できます。また、西武地区中学校統廃合(令和7年度より現在の西武中学校と野田中学校が統合し「西武中学校」となります)による制服のデザイン変更に伴い、令和7年度より西武中学校では女子用スラックスの選択も可能となります。今後、他の公立中学校でも女子用スラックスの選択も可能となるよう、検討が進められています。

編集・発行

入間市人権教育推進協議会 入間市教育委員会社会教育課
〒358-8511 入間市豊岡 1-16-1 TEL 04-2964-1111

人権啓発 DVD 紹介



『障害のある人の気持ち 私たちの一歩』

この作品では、実際に車いすを体験した二人の中学生のリポートと、パラアスリートのインタビューを通し、障がいのある人がどのような手助けが必要とされているのか、私たちに何ができるのかを考えていきます。



このDVDをご利用希望の方は、下記にお問い合わせください。

アンケート回答は
こちらから！



Click!

人権いるまに関する
アンケートにぜひ
ご協力ください

